

公益財団法人ひろしまドナーバンク

令和4年度事業実施報告書

(令和 5年 3月 31日現在)

本年度の事業の推進については、新型コロナウイルス感染状況により影響を受けたものの、概ね事業を推進することが出来た。

献眼の推進に関しては、イベント開催が少なかった影響から献眼登録者数が伸びておらず、ライオンズクラブの献血事業との同時啓発について呼びかけをお願いした。また、アイバンクサポーターの育成、強化のため、日本アイバンク協会認定サポーター講習会を開催し、献眼の連絡や対応について再確認を行い実績に繋がる取り組みを行った。ほか、3年ぶりに角膜摘出協力医に関する研修会（ウェットラボ）を開催し、角膜摘出技術向上に努めた。更に、慢性期総合病院からの依頼により出前講座による献眼研修会を実施した。

臓器提供・移植医療の推進に関しては、院内体制整備のためのチラシを作成し配布を行った。また、院内移植コーディネーター研修会をウェブ配信により3回実施し、5類型施設のほか心停止後臓器提供が可能な県内施設、更に県外のコーディネーター等へ案内を行い多くの参加を得たほか、県外のバンク等がWeb開催する院内臓器移植コーディネーター向け研修会への参加を促し資質向上に努めた。一般県民への啓発活動としては、大学、高校、専門学校へ移植医療についての出前講座を実施したほか、10月の普及推進月間には県内図書館や企業の協力のもと普及啓発を行った。更に、昨年引き続き日本臓器移植ネットワークの都道府県支援事業特別枠によりグリーンリボンデザイン公募プロジェクトを進め、3月にブックカバーとして3万部を協力書店に配布した。

造血幹細胞移植の推進では、骨髄ドナー登録会の開催件数がコロナ禍前に戻りつつあるものの、実施計画に苦慮したが昨年度以上の回数を実施した。本年度、日本骨髄バンクが主催する推進全国大会（広島）への企画協力を行った。また、例年開催する骨髄ドナー説明員研修会にて広島県の骨髄ドナー登録の現状や取り組みについてオンデマンド配信による説明を行った。ほか、日本骨髄バンクから骨髄バンク事業協力への感謝状を授受した。

そのほか、前年度に刷新したドナーバンクホームページでは、情報発信のツールとして活用している。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

管理部門

1. 一般寄附金

2, 630, 458円

寄 付 者	金 額
ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区	2,000,000
古江中野眼科	110,000
佐々木克己	100,000
匿名	100,000
小林正夫	50,000
中野美智子	50,000
花木照恵	50,000
日谷眼科	50,000
鹿島和美	30,000
三嶋弘	30,000
保久早苗	20,000
広銀ボランティア口座 41 件	18,458
渡部朋子	12,000
笹田直美	10,000
寄 附 合 計	2,630,458

○ドナーバンク支援自販機による寄附金

5, 149, 742円

設 置 場 所	台数	金 額
広島大学病院 広仁会館、P1 立体駐車場前、霞体育館、中央診療棟、臨床管理棟 3 階、 1 階待合口、2 階待合口、2 階みどりの広場、2 階エレベーター横 整形外科待合前、BF 1 階エスカレーター前	11	2,174,570
北部医療センター安佐市民病院	2	472,029
株式会社福屋	2	281,347
木村眼科内科病院（1 階ロビー、4 階ロビー）	2	265,305
中国労災病院	1	219,826
三次中央病院（救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横）	3	170,461
（医社）仁慈会安田病院	1	144,208
広島電鉄株式会社	2	143,047
株式会社ヒロテック（ドーム）	1	142,070
戸田工業株式会社（大竹工場 2、創造センター1）	3	131,989
大成建設（サッカースタジアム）	2	114,215

JA 広島総合病院	1	81,627
(公社) 広島市身体障害者福祉団体連合会 (広島総合リハビリテーションセンター)	1	76,650
J A尾道総合病院	1	72,434
二階堂眼科	1	71,541
株式会社ニシキタクシー	1	62,399
広島市立安佐市民病院 (旧) *5月撤去	0	51,640
メリーホスピタル (ワタキュー)	1	42,152
医療法人仁光会日谷眼科	1	40,000
サンデン株式会社	1	39,250
有限会社あおぞら (青空マート)	1	36,450
広島市医師会	1	34,718
広島県医師会	1	31,343
プルデンシャル生命保険会社福山支社	2	30,425
ユニテック工業株式会社	1	28,360
広島銀行本店	1	24,850
つまもと眼科	1	24,496
福山松永ライオンズクラブ	1	23,920
医療法人井之川眼科医院	1	21,569
荒木脳神経外科病院	1	20,533
株式会社MASUDA	1	18,431
学校法人 銀河学園	1	13,699
J A吉田総合病院	1	12,125
安芸市民病院	1	10,649
広島スチール工業株式会社	1	7,476
医療法人 JR 広島病院	1	7,250
安佐医師会	1	3,923
梶川病院	1	2,765
設置台数・寄附額	57	5,149,742

2. 募金箱（37施設）

1, 087, 022円

施設名	金額	施設名	金額
木村眼科内科病院	87,479	小島病院	24,902
おち眼科医院	75,346	しらね眼科	22,507
戸田眼科的場医院	59,918	つるが眼科	19,369
高陽ニュータウン病院	59,038	阿品土谷病院	18,391
藤武眼科	58,033	しみず眼科医院	18,380
井上眼科医院	54,678	おの眼科	17,737
高山眼科	53,076	古吉眼科医院	15,730
生塩眼科	44,987	山代眼科医院	13,381
黒木眼科医院	43,826	今田眼科医院	12,508
セントラル眼科	37,597	山地内科医院	10,383
藤原眼科	36,140	日谷眼科	10,000
ひとみ眼科	34,242	奈良井眼科	9,882
石田眼科医院	32,785	尾道クリニック	9,670
安芸太田病院	32,243	はしもと眼科	8,457
井之川眼科医院	31,792	古江中野眼科	7,607
竹田眼科医院	30,583	山中眼科医院	7,463
海田市薬局・岸本眼科	29,158	木阪クリニック	4,497
白石眼科医院	25,466	津村眼科	4,384
たんきょう眼科	25,387	合 計	1,087,022

3. 賛助会員

2, 505, 000円

法人会員 138口 82団体 (1, 380, 000円)

個人会員 375口 241名 (1, 125, 000円)

事業部門

I. 献眼移植のあっせん事業

1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

①例年同様、献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

◎献眼ポスター 300部（日本アイバンク協会より）

◎献眼パンフレット 作成なし（平成30年度作成分に対応）

◎献眼登録申込書 8,000部

◎献眼登録者連絡用マグネットシート 作成なし（令和2年度作成分で対応）

②本年度はライオンズクラブ等が実施する献眼推進運動が出来ず、登録者は少なかったが、送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録者カード」「献眼登録者連絡用マグネットシート」を送付した。令和4年度の新規献眼登録者は106名で、死亡・取消などにより実質138名減となった。

◆広島県の献眼登録者（3月末時点） 31,467名（138名減）

前年度末登録者数	31,605名
新規登録者数	106名
献眼者数	22名
取消数（転出・死亡等）	222名
3月末登録者数	31,467名

2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第2号）

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、登録及び管理業務を行った。

◆広島県の角膜移植希望者（3月末時点） 67名68眼（4名5眼増）

前年度末	手術希望者数	63名（63眼）
新規	手術希望者数	40名（42眼）
	移植角膜数	35名（36眼）
	希望取消数	1名（1眼）
3月末	手術希望者数累計	67名（68眼）

3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業（定款第4条第4号）

ご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼等を含み県内2施設にあっせんした。

- ① 献眼数 22名 44眼（保存眼等18眼）
- ② あっせん数 37眼（うち開設以来保存眼11眼利用）
- ③ あっせん先 ア 県内（36）： 広島大学病院（24）
木村眼科内科病院（12）
イ 県外（1）： 東京医科大学病院（1）

◆全国及び広島県の献眼状況（令和5年3月末時点）

献眼者数	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績
全国	720	725	466	505	575
広島県	18	18	22	17	22

4. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対し、感謝状の贈呈を行うとともに、弔電、花輪をお供えして弔意を表明した。また、厚生労働大臣感謝状に供物を添えてご遺族に伝達した。新型コロナウイルス感染予防の対策として、ライオンズクラブ会員以外の献眼者については、葬儀等への参列は控えることとし感謝状は郵送で対応した。

①献眼者 22名（厚労大臣感謝状伝達15名）

②献腎者(脳死提供含む) 1名（厚労大臣感謝状伝達1名）

II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発

①ライオンズクラブが実施する献眼推進運動やその他イベント等が新型コロナウイルス感染症の影響による自粛が続き、啓発パネル、幟の貸し出しなどによる啓発活動が少なかった。

◎パネル利用状況 3回

◎角膜のぼり利用状況 3回

◎移植医療（臓器用）のぼり・バナー利用状況 2回

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」への参加（10/30）

③グリーンリボンブックカバーデザイン公募企画

グリーンリボンをテーマとしたブックカバーのデザインを県内の小・中・高校、専門学校、大学、市町、公共機関、企業等へ公募。応募132作品の中から優秀作品1点をブックカバーとして県内の廣文館書店10か所で配布した。

④骨髄バンク推進全国大会（広島）への企画協力（9/24） 2部：アイデアフェス

⑤臓器移植推進国民大会（2023年10月21日開催）への企画支援・協力

コアミーティング（Web:2/8、3/7）

⑥全国アイバンク連絡協議会（Web：2/15）

⑦その他の啓発活動

i. ドナーバンク支援自販機を積極的に設置していただくことにより、献眼及び臓器移植に関するポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行う。（57台）

ii. マスコミ各社へ移植医療の普及協力の依頼および取材対応を行った。

（中国新聞社・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・中国放送等へ依頼）

○テレビ新広島 移植医療報道企画支援の為の打ち合わせや取材調整施行

（地上波 臓器特番：広島5/21・全国7/29、献眼6/15、ほかNET配信）

○中国新聞社

iii. ホームページにて移植医療についての情報発信、およびイベント案内や骨髄ドナー登録会日程、医療者向け情報提供などの発信を行った。

2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

①当バンクで作成したグリーンリボンポスター、リーフレット及び公社) 日本臓器移植ネットワークのパンフレットを公共施設、関係団体へ配布するとともに、公財) 日本アイバンク協会から購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズクラブ等に配布して、県民への啓発に努めた。

i. 「ひろしまドナーバンクだより」(20,550部)を発刊。

ii. 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布

グリーンリボンキャンペーンリーフレット 15,000枚・ポスター2,000枚作成

iii. 骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ等の資料を作成し提供した。

3) 10月の普及推進月間行事の開催・参加

臓器移植関係、骨髄関係のボランティアなどと連携し、企業等の協力を得て移植医療の推進に係る活動を展開した。

①骨髄バンク普及推進月間では、広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日に骨髄ドナー登録会を実施した。

○日 時：令和4年9月26日(月)～10月2日(日)

場 所：イオンモール広島府中 1階 ムーンギャラリー

内 容：パネル展、集団登録会(新規登録者11名)

広島県主催「骨髄バンク推進街頭キャンペーン」感染予防のため中止

②グリーンリボンキャンペーンを企業等の協力を得て、施設のライトアップやパネル展、パンフレット・ポスター等の配布、グリーンリボンドライバーステッカーの貼付により普及啓発を行った。

○グリーンリボンキャンペーンポスター・ステッカー等の配布や展示

協力企業等：広島県タクシー協会 72カ所(1,828枚)

広島県バス協会(1,000台分)

県内図書館(15カ所)

提供病院に展示ブース開設(23カ所)

○本通り商店街アーケードおよび福屋広島駅前エールエールA館、宇品大橋でのライトアップの協力をいただいた。

③グリーンリボンフェス2022への企画準備およびイベント支援

グリーンリボン推進協会に協力するとともに会場での啓発ブースの設置

○移植医療絵画展(9/21-25) ○グリーンマルシェ(10/24-25)

○音楽ライブ(10/29)

4) 講師等の派遣を行う出前講座を開催

①出前講座により、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植、献

眼、骨髄ドナー登録普及に関する講義を行い移植医療の普及啓発を行った。

- 呉市医師会看護専門学校 (9/24)
- クリップ広島医療講演 (9/25)
- 呉共済病院看護専門学校 (11/24)
- 清水が丘高等学校専攻科 2 年 (11/25)
- 安佐准看護学院 (11/28)
- 住友生命広島支社 (11/29)
- 安田女子大学 (12/22)
- 比治山女子中学校 (1/19)
- 清水が丘高等学校専攻科 1 年・3 年 (2/10)
- 皆実高等学校 (2/24)
- 三次看護専門学校 (3/14)
- グループホーム古田のおうち (3/26)

② 献眼・角膜移植、骨髄ドナー登録に関する普及啓発を行った。

- LC キャビネット Web 会議 (7/27)

③ メリィホスピタル献眼研修会 (9/6)

講師：広島大学病院眼科 近間泰一郎診療教授

④ 日本骨髄バンク主催の骨髄ドナー説明員研修会にて広島県の現状、取り組みについて事例紹介を行った。(8/22 オンデマンド配信)

5) 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦

厚生労働大臣感謝状の推薦については推薦条件に抵触し見送りとなった。広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した。

i 「臓器提供協力」 (広島県知事：個人)

- 皆本 敦 (みなもと眼科 院長 ひろしまドナーバンク理事)

2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業

(定款第 4 条第 7 号)

1) 献眼の推進に関する事業

① ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を福山市にて開催した。

(福山地区) 日 時：令和 4 年 1 0 月 2 0 日 (木) 午後 2 時～

場 所：エフピコアリーナ (福山市総合体育館)

出席者：受講者 6 2 名 + LC 役員 2 名

② 角膜摘出協力医に関する研修会

日時：令和 4 年 1 2 月 1 0 日 (土) 午後 2 時～ 日本アルコンウェットラボ

出席者：受講者 4 名 + 大学講師ほか 3 名

2) 造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「広島つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学 S R V」「日本赤十字広島看護大学」などのボランティア団体等と連携し、個別に説明員養成研修会を適宜実施し、説明員の確保と骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

①骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財) 日本骨髄バンク等が主体として実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、行政等の協力により、骨髄ドナー登録会を開催した。

②骨髄提供・移植に関する出前講座を開催し普及啓発活動を行った。

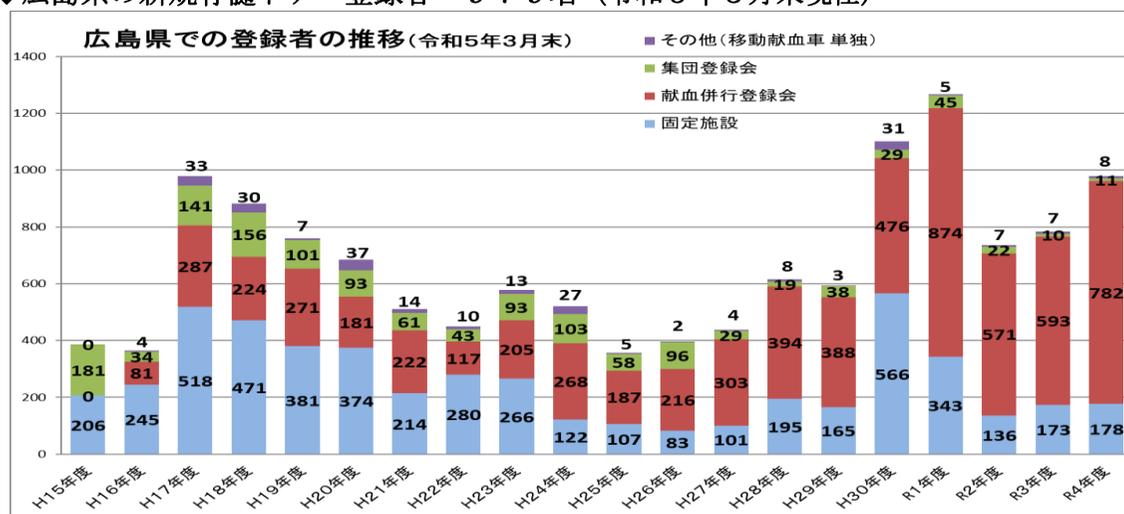
○比治山大学 (6/8) 参加 86名

◆ひろしまドナーバンクが実施した骨髄ドナー登録会の回数と人数

新規登録者 793名 (令和5年3月末現在)

登 録 会		昨年度	本年度
事前説明会	回数	0回	0回
	登録者		
集団登録会	回数	1回	1回
	登録者	10名	11名
献血併行型登録会	回数	81回	104回
	登録者	593名	782名
合 計	回数	82回	105回
	登録者	603名	793名

◆広島県の新規骨髄ドナー登録者 979名 (令和5年3月末現在)



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数 (令和5年3月末現在)

区 分	全 国	広 島 県	
		実数	人口1万対比
ド ナ ー 登 録 者 数	544,305 (99.8)	10,597 (全国第15位)	90.5 (全国第26位)
患 者 登 録 者 数	1,734 (国内1,219)	11 (全国第32位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	27,558 (国内27,269)	762 (全国第11位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	27,585 (国内27,383)	672 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

一般県民への普及啓発と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら、院内体制整備支援を行い、臓器移植推進に取り組んだ。

◆ 献腎登録者 8,811名（59名減）

前年度末登録者数	8,870名
新規登録者数	1名
献腎者数	1名
取消数（転出・死亡等）	59名
3月末登録者数	8,811名

◆ 全国の心停止後・脳死下臓器提供の推移



*脳死下の内、臓器の提供に至らなかった件数を含む

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
脳死下提供数	全国	77	70	94	62	79	106
	広島	2	2	3	0	2	1
心停止後提供数	全国	28	30	26	9	13	16
	広島	2	3	0	1	1	0

1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

院内体制整備の為、院内コーディネーターとの連携強化を基盤に各施設を訪問し、臓器摘出における提供病院内体制整備の支援を行った。昨年同様、主にメール・電話・郵送等にて院内C oと連携を図った。（臓器提供マニュアル作成、研修会、臓器提供シミュレーション実施への協力）

①対象施設（院内移植C o 設置施設 24施設）

荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、五日市記念病院、尾道市立市民病院、尾道総合病院、梶川病院、呉医療センター中国がんセンター、呉共済病院、県立広島病院、興生総合病院、中国中央病院、中国労災病院、寺岡記念病院、脳神経センター大田記念病院、東広島医療センター、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、広島総合病院、広島大学病院、福山市民病院、府中市民病院、北部医療センター安佐市民病院、マツダ病院、三次中央病院

②訪問施設および回数 12施設 20回

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、北部医療センター安佐市民病院、福山市民病院、大田記念病院、荒木脳神経外科病院、中国労災病院、広島総合病院、五日市記念病院、広島赤十字・原爆病院、三次中央病院

2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①院内コーディネーター研修会

(Web 7/6 : 約 150 名、12/7 : 約 100 名、3/1 : 約 180 名) 3回

②広島県臓器移植推進委員会 (2/1 : 11 名) 1回

3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動等

院内での臓器提供発生時の役割等を検討する研修会を開催し、臓器提供に係る院内体制整備を行った。

①院内研修会・勉強会・臓器提供シミュレーションの開催及び支援・協力 2回

○広島市民病院 臓器提供委員会(7/11) 約 20 名

○広島赤十字・原爆病院 臓器提供委員会 (3/8) 約 20 名

②院内体制整備のための啓発物等を作成し、県内臓器提供施設 (5 類型・心停止病院) 242 施設へ配布

○「広島県からのお知らせ」意思表示啓発用リーフレット 15,000 枚

③日本臓器保存生物医学会における院内コーディネーター研修会にて広島県臓器移植コーディネーターが企画協力および講師として参加 (11/4)

○企画：重症患者対応メディーエーターのシミュレーション

4) コーディネーターの学会・研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが、(公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催するWeb研修会に参加し、最新の移植情報の収集と資質向上に努めた。

また、多くの研修会がWeb配信であったため県内の院内コーディネーターに対し参加を促した。

①日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会 (Web 6/22、7/7、11/9-10、2/28)

4回

②中国四国コーディネーター会議 (Web 6/28、8/26、11/17、2/27)

4回

③日本脳死脳蘇生学会 (Web 6/19)

1回

④日本移植学会総会 (Web 10/13-15)

1回

⑤日本臓器保存生物医学会 院内C o 研修会 (Web 11/4-5)	1 回
⑥西日本組織移植C o 研修会・他県主催C o 研修会 (Web 5/19、7/7、1/19)	3 回
⑦兵庫県院内移植C o 研修会 (Web 5/21)	1 回
⑧大分県臓器移植C o 研修会 (Web 7/30)	1 回
⑨山形県臓器移植推進トップセミナー (Web 8/5)	1 回
⑩東京歯科大学市川総合病院内移植講演会 (Web 8/25)	1 回
⑪徳洲会臓器移植フォーラム (Web 11/18)	1 回
⑫J A T C O 主催第 1 回症例検討会 (Web 12/10)	1 回
⑬福岡県臓器提供普及協議会 (Web 1/27)	1 回
⑭入院時重症患者対応実務者発表会 (Web 1/28)	1 回

5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

本年度、県内の臓器提供事例は脳死下 1 件で、公社) 日本臓器移植ネットワークの指示のもと情報収集と臓器搬送等の対応を行った。そのほか提供に至らなかった 1 2 件の臓器提供情報に対して、情報収集とその対応を行った。

2. 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業 (定款第 4 条第 5 号)

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- ①角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- ②献眼の推進に関する打合せ
- ③臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- ④臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- ⑤骨髄ドナー登録に関する打合せ